遠近両用（交替視タイプ）ハードコンタクトレンズ

アイミー サプリームバイフォーカル

承認番号21400BZZ00555000

フィッティングマニュアル

旭化成アイミー株式会社

目　次

特長 …… P1
基本物性 …… P1
安全性試験…… P1
レンズデザイン …… P2
用語の解説…… P2
製作範囲 …… P2
トライアルレンズセット …… P3
適応と禁忌…… P3
処方の手順と実際 …… P4
使用上の注意事項 …… P8
定期検査 …… P8
装用スケジュール …… P9
ケアシステム…… P9
点眼薬の使用について …… P10
バイフォーカルレンズ発注書…. P11
頂点間距離補正表 …… P13

特長

1．交替視方式により、遠近ともにクリアーな視界が得られます。
アイミーサプリームバイフォーカルは、交替視方式の遠近両用コンタクトレンズです。それぞれ独立した遠用部と近用部を備えているので、遠近ともに広くクリアーな視界が得られます。

2．独自のクレセントデザインにより、安定した視力矯正が可能になりました。
アイミーサプリームバイフォーカルでは、遠用部と近用部の移行部に、独自のクレセントデザインを採用しています。瞬目時にレンズが回転しても、遠用部と近用部が瞳孔中心からずれることが少なく、安定した視力矯正が可能となっています。

3．レッジ加工により、像のゆれやジャンプがありません。
遠用部と近用部の移行部には、レンズフロント面に段差を設けるレッジ加工を施してあります。これにより、遠用と近用の光学軸が同一光軸上に設計されており、遠用部から近用部に視線が移動しても、度数の変化による像のゆれやジャンプがありません。

4．Dk値は136。
高い酸素透過性能により、ゆとりの終日装用が可能です。

5．眼に有害な紫外線をカット。
近年のオゾン層の破壊にともなう紫外線量の増加と白内障や翼状片の発生との関係が指摘されています。アイミーサプリームバイフォーカルは、素材に紫外線吸収剤を配合することにより、眼に到達する紫外線（UVA、UVB）を、ほぼ（約95%）吸収することができます。

基本物性

1．素材
アイミーサプリームバイフォーカルは、酸素透過係数（Dk値）136と非常に高くし、かつ水濡れ性、形状保持性、耐汚染性、耐衝撃性および弾力性を維持することを目的として開発されました。その結果、シロキサニル系メタクリレートを主成分とし、新規な改質モノマーを共重合させた新しい樹脂を使用しています。

2．基本物性値

項　目	測定法	単　位	物性値
酸素透過係数（Dk値）	電極法ガイドライン	$(cm^2/sec)\times(mlO_2/ml\times mmHg)$	136×10^{-11}
屈折率	JIS K 7105		1.445
視感透過率	ISO 8599	%	96.2
接触角	水中気泡法	度	56
硬度	ショアD		74
比重	JIS K 7112		1.066
吸水率	JIS K 7209A	%	0.3

3．酸素透過性
アイミーサプリームバイフォーカルの素材は、Dk値136。この値が角膜の代謝機能を阻害しないレベルであることは、家兎眼装用試験により確認されております。
吉田晃敏：コンタクトレンズと角膜の代謝　日コレ誌　34：77-82、1992

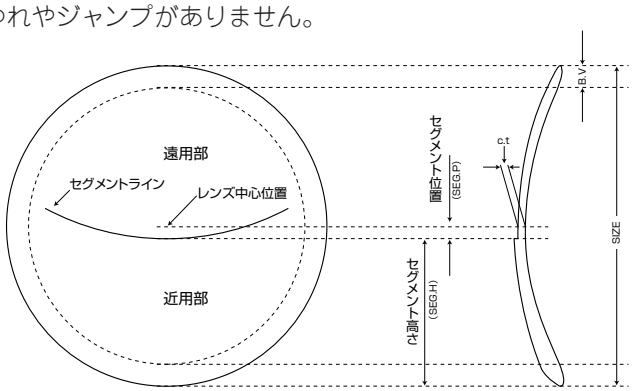
4．強度
アイミーサプリームバイフォーカルは、レンズを径方向に圧縮し（圧縮速度2cm/min）、破壊時の応力および歪みを測定する曲げ強度試験において、当社従来レンズの約3倍（1.8kg）の荷重をかけても破壊しませんでした。

安全性試験

アイミーサプリームバイフォーカルの素材は、各種の生物学的安全性試験及び家兎による装用試験等を行い、その高い安全性が確認されています。

レンズデザイン

アイミーサプリームバイフォーカルは、交替視方式によるセグメントタイプの遠近両用コンタクトレンズです。遠用部と近用部の移行部を、ゆるやかな弧を描いたクレセントデザインで設計することにより、瞬目時のレンズの回転の影響を抑え、安定した視力矯正が可能になっています。
また、遠用部と近用部の移行部には、レンズフロント面に段差を設けるレッジ加工が施されており、遠用と近用の光学軸が同一光軸上に設計されているので、遠用部から近用部に視線が移動しても、度数の変化による像のゆれやジャンプがありません。



用語の解説

●セグメント
遠用部、近用部の光学ゾーンをそれぞれセグメントと呼びます。

●セグメントライン
遠用部と近用部の移行部は、ゆるやかな弧を描いたデザインになっており、この移行部をセグメントラインと呼びます。

●セグメント高さ（SEG. H）
レンズ下端からセグメントラインまでの距離をセグメント高さ（SEG. H）と呼びます。
※SEG.HはSEGMENT HEIGHTの略。

●セグメント位置（SEG. P）
セグメントラインの位置指定は、レンズ中心部からセグメントラインまでの距離により表示し、この距離をセグメント位置（SEG. P）と呼びます。
※SEG.PはSEGMENT POINTの略。
※セグメントラインがレンズ中心部より下方にある場合をマイナス表記、上方にある場合をプラス表記とします。

$$※SEG.H=\frac{SIZE}{2}+SEG.P$$

●クレセントデザイン
セグメントラインの形状設計をクレセント（三日月）デザインと呼びます。

●レッジ
遠用部と近用部の移行部に設定したレンズフロント面の段差のことをレッジ（浅い棚）と呼びます。

●プリズムバラスト
レンズの回転を抑制し、瞬目後、速やかにレンズが角膜上に安定するよう適度な厚みと重量をレンズ下方にもたせてあります。

製作範囲

項　　目	標 準 製 作 範 囲
レンズ径（SIZE）	9.2mm、9.4mm、9.6mm
ベースカーブ（BC）	7.00mm～9.00mm（0.05mmステップ）
遠用度数（POWER）	＋5.00D～－10.00D（0.25Dステップ）
加入度数(ADD)	＋1.50D～＋4.00D（0.50Dステップ）
セグメント位置（SEG. P）	±0mm、－0.5mm、－1.0mm

※レンズの製作には、別途納期をいただきます。
※アイミーサプリームバイフォーカルのセグメント位置（SEG. P）は、
SEG. P＝±0mm（セグメントラインをレンズ中心に設定）
SEG. P＝－0.5mm（セグメントラインをレンズ中心から0.5mm下方に設定）
SEG. P＝－1.0mm（セグメントラインをレンズ中心から1.0mm下方に設定）
上記3タイプのSEG. Pから処方を決定します。
※詳細は担当営業におたずねください。

トライアルレンズセット

レンズ径（SIZE）	9.2mm	9.4mm	9.6mm
ベースカーブ（BC）	7.20mm～7.40mm（0.05mmステップ）	7.45mm～8.20mm（0.05mmステップ）	8.25mm～8.40mm（0.05mmステップ）
遠用度数（POWER）	−3.00D		
加入度数(ADD)	+2.00D		
セグメント位置（SEG. P）	−0.5mm		

計25枚セット

※処方以外に使用しないで下さい。また、トライアルレンズの使用は院内に限定するものとし、外部への貸出等は行わないで下さい。
※適時、ベースカーブ、パワーをチェックして下さい。外因による変形の可能性があります。
※洗浄・保管については、アイミーハードコンタクトレンズ用取扱説明書（終日装用）をご参照下さい。
※一般的に近用の加入度数は、遠用度数に対してプラス加入と表記しますが、本トライアルレンズセットでは、近用の加入度数が+2.00Dにて設定されているため、トライアルレンズ装用時の近用追加矯正視力検査においてマイナス加入を行うことがあります。

適応と禁忌

処方にあたっては、問診および事前検査を行い、禁忌となるような疾患がないかを確認して下さい。また、アイミーサプリームバイフォーカルはすべての老視患者に適応するというものではありません。処方を成功させるために最も大切なことは、患者が遠近両用コンタクトレンズを必要とする強い意欲を持っているかどうかを確認することです。問診時には、下記事項を確認しながら、患者の必要性と意欲とを確認して下さい。

●問診時の確認事項

①コンタクトレンズの装用経験
②動機
③使用目的
④職業（作業距離、作業内容）
⑤最も必要とされる距離（希望する明視域）
⑥遠方と近方の重視度（期待度）
⑦使用環境
⑧希望装用時間

●適応（適応しやすい方）

○ハードコンタクトレンズの装用経験がある方
○現在装用中のコンタクトレンズ矯正方法で近くが見にくく不便を感じている方
○職業上遠近ともに良い矯正視力を必要とする方で、視線の移動が頻繁でない方
○美容上眼鏡を使用したくない、今まで通りコンタクトレンズで近くも遠くも見たいという方
○近用加入度数が+1.50D以上必要な方
○コンタクトレンズや老視に対する理解が高い方

（適応に注意が必要な方）

○コンピューターやワープロを頻繁に使用する方（遠用度数の調整によっては使用できる場合があります）
○遠方視と近方視の視線の角度に差がない方
○涙液の少ない方

（適応が困難な方）

○ハードコンタクトレンズの装用経験がない方
○裸眼で遠方視力が良好で、近方が不自由な方
○遠近両用の眼鏡装用に満足している方
○まっすぐに前を向いた状態で近方視する作業をする方

●医学的禁忌例

○眼瞼感染および異常
○結膜感染および異常
○角膜感染および異常
○虹彩炎、感染および異常
○涙液分泌減少症および異常
○糖尿病等の装用に非適応な全身疾患
○その他医師が非適応と判断した疾患

●非医学的禁忌例

○医師の指示に従うことができない方
○良好な衛生管理ができない方
○極度に神経質な方

処方の手順と実際

アイミーサプリームバイフォーカル処方の手順

問診

↓

前眼部検査

↓

角膜曲率半径の測定

↓

角膜横径・瞳孔縦径・下眼瞼から瞳孔下縁までの高さの測定

○レンズ径、近用部分のセグメント位置（SEG.P）決定の参考値とします。

＜非適応眼＞下眼瞼の位置が角膜輪部よりも下側にある時は、交替視型遠近両用コンタクトレンズでの近方視が困難なため、非適応となる場合があります。

↓

自覚的屈折検査

○遠用矯正と近用矯正を行います。

（コンタクトレンズ脱直後は、検査データが不正確な場合がありますのでご注意下さい。）

↓

トライアルレンズの選定

○角膜曲率半径の中間値を0.01㎜～0.04㎜切り上げ、さらに十0.05㎜加算した数値のベースカーブのトライアルレンズを第一選択として下さい。

○ハードコンタクトレンズ脱直後は正確な角膜曲率半径の測定ができない場合がありますので、最終的な規格は、フルオレセインパターン、レンズの安定位置、動き、回転を確認のうえ、ベースカーブを決定して下さい。

↓

フィッティング検査

○トライアルレンズを目に装着してから安定するまで充分な時間をおいて下さい。

○トライアルレンズを装用することにより過矯正となる場合は、プラス度数を加入し、過矯正とならないよう調整して下さい。

○以下の項目を検査し、総合的に判断してベースカーブを決定して下さい。

①フルオレセインパターン

○コンタクトレンズを角膜のほぼ中央に位置させ、フルオレセインで染色し、開瞼状態で判断します。

②瞬目時のレンズの動き、瞬目後のレンズの安定位置の確認

○安定した視力を得るためには、瞬目後、レンズが上方から速やかに下降し、下眼瞼で安定する必要があります。

○レンズの偏位（左右）が少なく、瞳孔が遠用光学部に入っているかどうかも確認して下さい。

注意　●レンズの上眼瞼への引き上げが大きく下降が遅いと遠方視でのぼやけが気になります。レンズが上方で安定する場合や、レンズの動きに蛇行が見られる場合は、もう1段階スティープなベースカーブに変更して再度確認して下さい。

＜非適応眼＞ベースカーブを変更しても蛇行や上方安定により、レンズ光学部が瞳孔から大きくずれたり、レンズの動きが安定しない場合は、不適応として下さい。

③セグメントラインの傾きの確認

○一般的に瞬目の度に右レンズが反時計回り、左レンズは時計回りに回転する傾向があります。瞬目後、角膜上にレンズが安定した状態でのセグメントラインの傾きを確認して下さい。

○セグメントラインの傾きは水平であることが望ましいが、鼻側上りに傾斜している場合でも、レンズが安定した動きをしていれば視力に影響を及ぼしません。

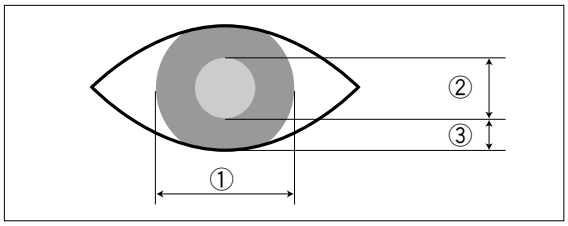
＜非適応眼＞セグメントラインの傾きが耳側上りに傾斜している場合は、近方視時に瞳孔が近用部に入らない場合があります。
耳側上りに20°以上傾斜している場合は近方視力を確認し、視力不良が認められたら不適応として下さい。

アイミーサプリームバイフォーカル処方の実際

●角膜曲率半径の測定

7.86（42.94D）
7.72（43.72D）

●角膜横径・瞳孔縦径・下眼瞼から瞳孔下縁までの高さの測定



①角膜横径（11.0㎜）
②瞳孔縦径（6.0㎜）
③下眼瞼から瞳孔下縁までの高さ（2.5㎜）
④下眼瞼から瞳孔中心までの高さ
$=\frac{②}{2}+③=$（5.5㎜）

●自覚的屈折検査

R.V.（遠用）＝0.05（1.0×S−4.00）
（近用）＝1.0×＜上記度数＞ADD＋2.50

●トライアルレンズの選定

$\frac{\text{強主径線値＋弱主径線値}}{2}=\frac{7.72+7.86}{2}=7.79$

中間値7.79を0.01㎜〜0.04㎜切り上げて、さらに＋0.05㎜加算する。

↓

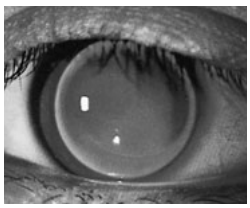
BC7.85　P−3.00　ADD＋2.00　Size9.4　SEG.P−0.5

●フルオレセインパターン

スティープ

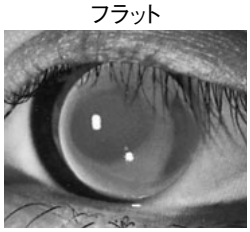
レンズのベースカーブが角膜のカーブに対して小さい状態で、フルオレセイン液は中央部では濃く、中心にプールした形を作り、周辺部では淡く発光します。

ノーマル



レンズのベースカーブが角膜のカーブに対してパラレルにのっている状態です。フルオレセイン液は角膜全域でほぼ均等に発光します。

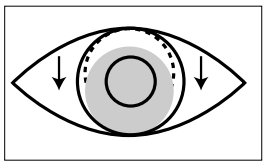
フラット



レンズのベースカーブが角膜のカーブに対して大きい状態です。フルオレセイン液は中央部で淡く、周辺部では濃く発光します。

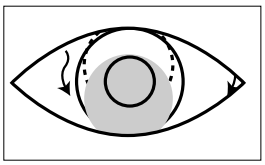
●瞬目時のレンズの動き、瞬目後のレンズの安定位置の確認

＜安定したレンズの動き＞

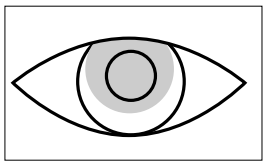


瞬目後、レンズが速やかに下降する。

＜不安定なレンズの動き＞



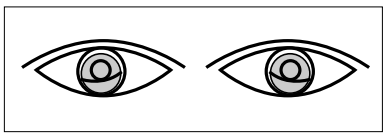
蛇行──非適応



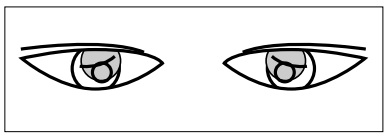
上方安定──非適応

●セグメントラインの傾きの確認

＜適応＞……セグメントラインが水平もしくは鼻側上りに傾斜

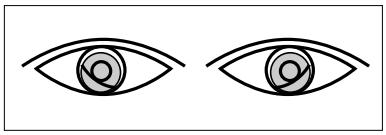


遠方視時

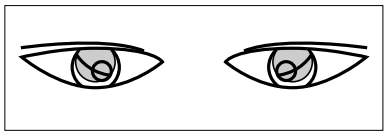


近方視時

＜非適応＞……レンズが耳側20°以上回転



遠方視時



近方視時

（前項からのつづき）

④レンズ径の確認

○レンズ径は、ベースカーブ数値及び角膜横径を基準に下表を目安に選択します。

		ベースカーブ		
		7.40㎜以下	7.45㎜～8.20㎜	8.25㎜以上
角膜横径	11.0㎜以下	9.2	9.4	9.4
	11.5㎜～12.0㎜	9.4	9.4	9.6
	12.5㎜以上	9.4	9.6	9.6

○上記数値は目安であり、最終的にはフィッティング検査にて決定して下さい。

⑤セグメント位置（SEG.P）の確認

○フルオレセインテストによるフィッティング観察時（コバルトブルーフィルター使用）に、瞳孔中心とセグメントラインとの位置関係をスリットランプにて観察し、適正なセグメント位置を決定して下さい。

注意　●明るさによって瞳孔径が左右されますので、検査時の照明状態は一定に保って下さい。

○正面視（日常の遠方視線と同じ状態）での観察を行います。
セグメントラインは、瞬目後安定した状態で、瞳孔下端とほぼ同じか、やや下側（0.5㎜位）にあることが必要です。

矯正視力検査

○コンタクトレンズの場合は、涙液レンズの影響を受けますので、必ずトライアルレンズ装用下での追加矯正で処方値を決めて下さい。（追加度数が±4.00D以上の場合は、角膜頂点間距離補正を行って下さい。）

●遠用矯正

○トライアルレンズ上から遠用の追加矯正を行います。
○セグメントラインが高い場合、視力矯正が困難になります。患者が見づらさを訴えたら、少しあごを引いて、上目使いで見るようご指導下さい。
○パソコン、ワープロを使用する方には、遠用度数を調整することによって使用できる場合があります。

●近用矯正

○近用視力表を用い、作業距離、作業内容を確実に把握したうえで、最も必要とされる距離を考慮して、加入度数の調整を行います。
○片眼遮閉検査においては、右眼検査時には近用視力表を左手前に置き検査を行い、左眼検査時には右手前で検査を行って下さい。

●視軸の移行の確認

○スムーズにレンズが移行して、遠方視・近方視が可能であることを、近用視力表を用いて確認して下さい。

●装用体験の実施

○一定の規格が決まったら、実際の日常生活を想定した作業（歩く、階段を昇降する、新聞を読む…等）を患者に体験させて下さい。

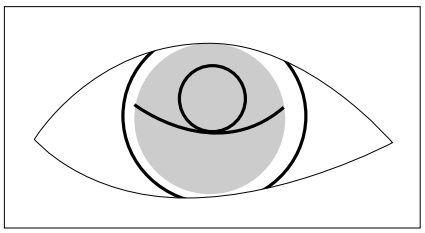
注意　●遠用度数・近用度数の決定にあたっては、患者の使用目的、最も必要とされる距離（希望する明視域）、遠方と近方の重視度等を確認しながら、適正度数範囲内で常用度数を決定して下さい。

●患者が遠方を見る際に、下方に軽度の「かすみ」を訴える場合がありますが、これは、このタイプの遠近両用コンタクトレンズの場合には正常なことです。この解消をはかるために、セグメント位置を低くすると逆に近方が見づらくなることがありますのでご注意下さい。

レンズ規格の決定

●セグメント位置（SEG.P）の確認

＜正面視での観察＞



セグメントラインが瞳孔下端と一致するか、やや下方（0.5㎜位）になるように設定する。

参考　●セグメント位置（SEG.P）の決定は、「下眼瞼から瞳孔中心までの高さ」を基準に選定することができます。

下眼瞼から瞳孔中心までの高さ 4.7㎜未満→SEG.P－1.0㎜

下眼瞼から瞳孔中心までの高さ 4.7～5.7㎜→SEG.P－0.5㎜

下眼瞼から瞳孔中心までの高さ 5.7㎜超→SEG.P±0㎜

上記数値は目安であり、最終的にはフィッティング検査、矯正視力検査にて決定して下さい。

●追加矯正視力検査

完全矯正度数の確認

トライアルレンズデータ

BC7.85　P－3.00　ADD＋2.00　Size9.4　SEG.P－0.5

R.V.（遠用）＝1.0×＜トライアルレンズ＞⌒S－1.00

（近用）＝1.0×＜上記度数＞ADD＋0.50

常用度数の確認

患者の使用目的、最も必要とされる距離（希望する明視域）、遠方と近方の重視度等の確認のうえ、常用度数を決定して下さい。

R.V.（遠用）＝1.0×＜トライアルレンズ＞⌒S－1.00

※（近用）＝0.8×＜上記度数＞ADD±0

※患者の希望する作業距離により加入度数を調整して下さい。

●処方決定値

常用度数検査データにより処方値を決めて下さい。

BC	POWER	ADD	Size	SEG.P
7.85	－4.00	＋2.00	9.4	－0.5

使用上の注意事項

アイミーサプリームバイフォーカルは、遠用部と近用部との使い分けに慣れるまで順応期間が必要です。充分に慣れていないうちは、視力が不安定になり事故等を起こす恐れがあります。装用指導の際には、弊社「アイミーサプリームバイフォーカル使用上の注意事項」を患者にお読みいただき、記載事項を必ず守るよう、患者に指導して下さい。

〈患者向〉アイミーサプリームバイフォーカル使用上の注意事項

アイミーサプリームバイフォーカルは、遠用部と近用部との使い分けに慣れるまで順応期間が必要です。充分に慣れていないうちは、視力が不安定になり事故等を起こす恐れがあります。
特に次の記載事項を必ずお守り下さい。

1．アイミーサプリームバイフォーカルに充分慣れるまでは、車の運転や機械操作など人体に障害を及ぼす危険性のある作業は行わないで下さい。

アイミーサプリームバイフォーカルに慣れるためには、特に次の点に注意する必要があります。

★車の運転を行う場合は、運転中に正面（前方）を見ている場合、左右を確認する場合、また後方を確認する場合のそれぞれについてのアイミーサプリームバイフォーカルでの見え方を事前に確認し、ご自分の見え方に充分慣れてから注意して行って下さい。

★夜間の運転の場合は、昼間とは見え方が異なりますので事前に確認のうえ充分に慣れてから注意して行って下さい。

★機械操作等を行う場合は、作業前にアイミーサプリームバイフォーカルを装用した状態での見え方を確認し、充分慣れてから注意して行って下さい。

★以上の注意をしても見えにくい場合は、直ちに運転や作業を中止して改めて見え方を確認して下さい。それでも見えにくい場合は眼科医にご相談下さい。

2．アイミーサプリームバイフォーカルに充分慣れるまでは階段の昇り降り（特に降りる時）に注意して下さい。

★アイミーサプリームバイフォーカルを装用すると、レンズの下方部に近用部が設定されているため、足元が見えにくくなります。このため、慣れないうちは階段を踏み外してケガをする危険性があります。初めのうちは階段や段差のない安全な場所でアイミーサプリームバイフォーカルでの見え方に慣れるよう練習して下さい。

3．スポーツする場合は、その内容によっては人体に障害を起こす危険性がありますので事前に眼科医にご相談のうえ充分慣れてから行って下さい。

患者への指導にあたっては、このフィッティングマニュアル、弊社「アイミーサプリームバイフォーカル使用上の注意事項」の他、弊社「アイミー酸素透過性ハードコンタクトレンズ用取扱説明書（終日装用）」をお読みいただき、正しい取扱方法をご指導下さい。

定期検査

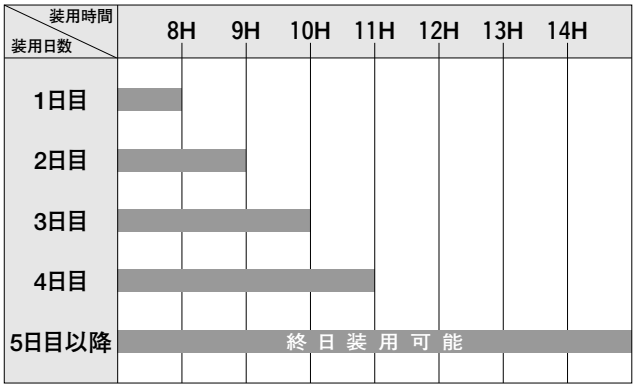
安全で快適な装用を続けるために、調子良く装用していても定期検査を受けるように、指導して下さい。定期検査のモデルを次に示します。

装用開始 ➡ 装用1週間後 ➡ 装用1ヶ月後 ➡ 以後3ヶ月ごと

●定期検査は次回の検査日を指定し、必ず受けるように指導して下さい。
●定期検査の際には、コンタクトレンズの特性を充分に発揮するためにも、眼とレンズの検査はもちろんのこと、装用者の取扱い方法もご確認いただき、正しい取扱いについてご指導下さい。
●少しでも異常を感じた場合は、直ちに医師に相談するよう指導して下さい。

装用スケジュール

アイミーサプリームバイフォーカルは、高い酸素透過性と快適な装用感により、初日から長時間の装用が可能です。しかし、個人差もありますので、初めて装用する患者には、下記のスケジュール表を参考に、装用者の使用状況に適した無理のない装用スケジュールをご指導下さい。

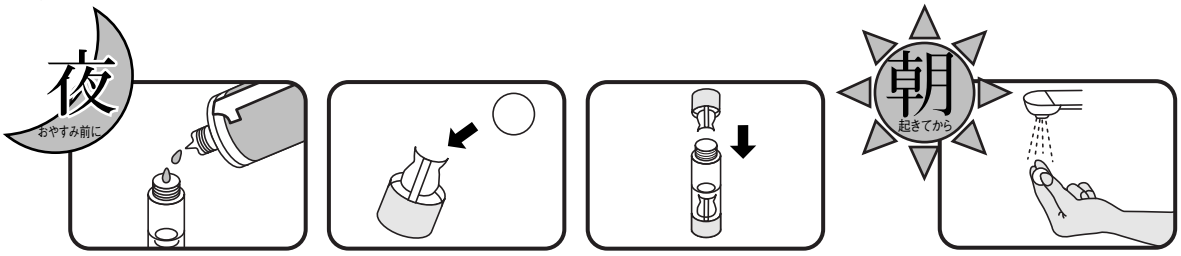


●寝る前は必ずレンズをはずすよう指導して下さい。
●何らかの都合により装用を中止することがあります。そのときは、装用スケジュールを変更することが必要です。特に眼疾患のため装用を中止した場合、必ず医師の指示に従い再装用の許可がでてから装用をすることを指導して下さい。
●一週間未満の中止でしたら初日から終日装用が可能です。
●一週間以上中止した場合は、再検査を行ってから装用スケジュールに従い、徐々に慣らすよう指導して下さい。

ケアシステム

アイミーサプリームバイフォーカルは、高い酸素透過性を有しており、眼に対する負担が少ない反面、取り扱い次第では、レンズの耐用期間にも少なからず影響がでます。ケアシステムは、コンタクトレンズの性能を最大限に引き出し、安全で快適な装用を続けるために欠くことができないものです。必ず弊社指定のケア用品をご使用いただき、正しい取扱い方法をご指導ください。

1.ケアサイクル



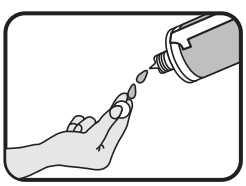
① レンズがじゅうぶん浸る量のワンオーケアを保存ケースに入れます。

② 目からはずしたレンズを保存ケースのホルダーに差し込みます。

③ 保存ケースにレンズホルダーを収納し、一晩保存してください。

④ 保存ケースからレンズを取り出し、水道水ですすいで、レンズを装用します。

レンズの汚れがひどい場合いは…



洗浄・保存前、または装用前にワンオーケアを数滴つけて、爪がレンズにふれないように、**指の腹でこするようにして洗い**、水道水ですすいでください。
また、**「アイミースーパークリーナー」(別売)**を使用するのも効果的です。

2．レンズの取り扱い上の注意

●レンズケアは決められた方法を守り正しく行うよう指導して下さい。また、各ケア用品に表示されている指示事項や添付されている説明書は必ず読み、指示に従うように指導して下さい。

●レンズに付着する汚れには個人差があります。レンズが汚れやすい場合には、適切なレンズケアを行うよう指導して下さい。

●専用ケア用品及び洗浄保存中の水中ケースは、清潔で直射日光のあたらない涼しい場所に保管するよう指導して下さい。

●使用期限の過ぎたケア用品は使用しないよう指導して下さい。

●レンズは乾燥させないよう必ず洗浄保存液中に保存するよう指導して下さい。

●化粧品等の外因性の汚れがついた場合や、体質等により非常に汚れがつきやすい場合には、アイミースーパークリーナーでのこすり洗い洗浄を併用するように指導して下さい。

3．レンズの長期保存方法

レンズの装用を一時中止し、長期間保存する場合は、次の方法に従ってレンズを保管するよう指導して下さい。

1．毎日のレンズケアの方法（P9）の①～③を行います。
2．レンズを取り出し、洗浄保存液でこすり洗いし、水道水で充分にすすぎます。
3．水中ケース内の液を捨て、水道水で、充分にすすぎます。
4．水中ケースに新しい洗浄保存液を入れ、レンズを収納します。
5．レンズを収納した水中ケースは冷暗所（冷蔵庫等）で保管して下さい。

注意 ●1ヶ月に1回は、水中ケース内の洗浄保存液を新しいものに入れ替えるように指導して下さい。再びレンズの装用を開始する場合は、取扱説明書内の「レンズの装用を中止した場合」に従うよう指導して下さい。

点眼薬の使用について

装用中の点眼薬の使用はできるだけ避けて下さい。点眼薬の成分によってはレンズに影響を及ぼす可能性があります。ただし、下記の点眼薬については浸漬テストを行い、影響のないことを確認しています。

コンドロン1%、3%	ラクリミン	サルファグチルアイリス
エコリシン	チオグルタン	サンテOA
フルメトロン（0.02%）	サンコバ	サンテ抗菌目薬
タリビット	タチオン	セピア45
ミドリンM	モンティア	バイシン
ベノキシール	レンズティアS	マイティアA
リキフィルム	アイパールコーワA	マイティアAZ
	アイリスAG-1	マイティアCL
	アスパラ目薬L	ロートアルガード
	クールライト	ロートハイなみだ

旭化成アイミー株式会社　行　[FAX(045)752-5945]

＜アイミーサプリームバイフォーカル発注書＞

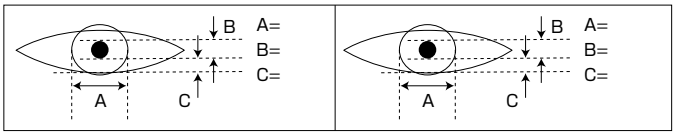
ご使用の場合はコピーのうえご使用ください。
新患時は(1)～(5)を、処方交換時は(4)～(7)をご記入ください。

コードNo.	貴院名						殿	Tel（　） -	
新患名							様	検査御担当名	様
区分	新患	処方交換（　回目）	破損交換	紛失再作	スペア	その他（　）			

(1) 角膜曲率半径

右眼　（　㎜）　AX=　（　㎜）　AX=　°	（　㎜）　AX=　（　㎜）　AX=　°　左眼

(2) 眼部形状　　右眼　左眼



(3) 自覚的屈折検査データ

R. V.（遠用）=　（　×S）　C　Ax.　）	近用=　×〈左記度数〉ADD
L. V.（遠用）=　（　×S）　C　Ax.　）	近用=　×〈左記度数〉ADD

(4) トライアルレンズ装用時の追加矯正視力（常用度数検査データ）

R	トライアルレンズデータ:BC　/POWER S **-3.00**　/ADD **+2.00**　/SIZE　/SEG.P **-0.50**	
	遠用 =　×〈トライアルレンズ〉⌒S	近用　×〈左記度数〉ADD
L	トライアルレンズデータ:BC　/POWER S **-3.00**　/ADD **+2.00**　/SIZE　/SEG.P **-0.50**	
	遠用 =　×〈トライアルレンズ〉⌒S	近用　×〈左記度数〉ADD

(5) レンズ処方データ　　（角膜頂点間距離補正後）

	BC	POWER	ADD	SIZE	SEG.P
R		S	＋		
L		S	＋		

(6) 前回処方レンズ装用時の追加矯正視力

R	処方レンズデータ:BC　/POWER S　/ADD　/SIZE　/SEG.P	
	遠用 =　×〈前回処方レンズ〉⌒S	近用　×〈左記度数〉ADD
L	処方レンズデータ:BC　/POWER S　/ADD　/SIZE　/SEG.P	
	遠用 =　×〈前回処方レンズ〉⌒S	近用　×〈左記度数〉ADD

(7) 前回の処方レンズの装用状況（処方交換の理由）

R	装用期間（　日）	異物感　視力不良　（遠用、近用）　フィッティング不良（蛇行、回転、　）
	その他	
L	装用期間（　日）	異物感　視力不良　（遠用、近用）　フィッティング不良（蛇行、回転、　）
	その他	

(8) スリットランプ観察時のセグメント位置の状態

トライアルレンズの場合　R ● L ●	処方レンズの場合　R ● L ●

弊社記入欄

発送日	月　日	
受注確認	月　日（受注者名　）	

〈キリトリ線〉

頂点間距離補正表

眼鏡度数（D）	コンタクトレンズ度数（D）		眼鏡度数（D）	コンタクトレンズ度数（D）	
	－（D）	＋（D）		－（D）	＋（D）
4.00	3.82	4.20	10.00	8.93	11.36
4.25	4.04	4.48	10.50	9.33	12.01
4.50	4.27	4.76	11.00	9.72	12.67
4.75	4.49	5.04	11.50	10.11	13.34
5.00	4.72	5.32	12.00	10.49	14.02
5.25	4.94	5.60	12.50	10.87	14.71
5.50	5.16	5.89	13.00	11.25	15.40
5.75	5.38	6.18	13.50	11.62	16.11
6.00	5.60	6.47	14.00	11.99	16.83
6.25	5.81	6.76	14.50	12.35	17.55
6.50	6.03	7.05	15.00	12.71	18.29
6.75	6.24	7.34	15.50	13.07	19.04
7.00	6.46	7.64	16.00	13.42	19.80
7.25	6.67	7.94	16.50	13.77	20.57
7.50	6.88	8.24	17.00	14.12	21.36
7.75	7.09	8.54	17.50	14.46	22.15
8.00	7.30	8.85	18.00	14.80	22.96
8.25	7.51	9.16	18.50	15.14	23.78
8.50	7.71	9.47	19.00	15.47	24.61
8.75	7.92	9.78	19.50	15.80	25.46
9.00	8.12	10.09	20.00	16.13	26.32
9.25	8.33	10.40			
9.50	8.53	10.72			
9.75	8.73	11.04			

旭化成アイミー株式会社

本　　社	横浜市磯子区東町15-32（モンビル）	TEL.（045）752－6417
東京営業所	東京都港区芝5-31-15（センチュリー三田ビル）	TEL.（03）5232－1551
東北営業所	福島市東中央2-2-2	TEL.（024）533－5931
大阪営業所	大阪市中央区本町4-6-20（横堀コーオフィスビル）	TEL.（06）6263－7888
福岡営業所	福岡市中央区渡辺通4-9-18（福酒ビル）	TEL.（092）752－4258

2007.10